

令和7年度 岡山県立勝山高等学校

特別入学者選抜

選択実施する検査（小論文）

受検上の注意

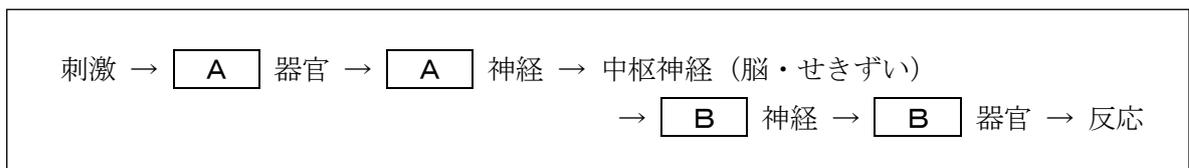
- 1 受検票は、番号の書いてあるほうをオモテにして机上の受検番号札の下にはさみなさい。
- 2 検査開始の合図があるまで、下の用紙を見てはいけません。
- 3 「受検上の注意」1枚、解答用紙1枚、問題用紙5枚の用紙があります。
- 4 開始後、解答用紙および問題用紙に不備がある場合は、静かに手をあげなさい。
- 5 解答は鉛筆（シャープペンシル可）を使用して書きなさい。
- 6 解答用紙には受検番号を必ず書きなさい。
- 7 解答は、解答用紙の定められたところに収まるように書きなさい。
- 8 解答用紙にある  や  の中には、何も書いてはいけません。
- 9 字数が指定されている設問では、「,」や「。」も1マス使いなさい。
- 10 途中で体調が悪くなった場合は、静かに手をあげなさい。
- 11 終了の合図があったら、ただちに鉛筆を置いて、静かに指示を待ちなさい。
- 12 「受検上の注意」と問題用紙は持ち帰りなさい。

令和7年度 岡山県立勝山高等学校特別入学者選抜選択実施する検査 (小論文)

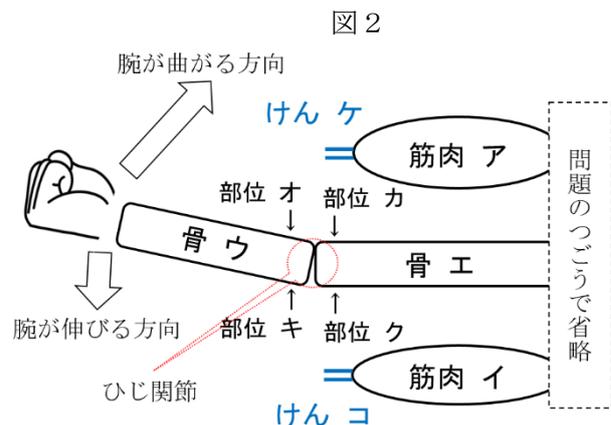
1 動物のからだのつくりとはたらきについて、(1) ~ (3) に答えなさい。

(1) 生物が外界の刺激を取り入れて、反応を示すまでの経路を示した図1の **A**、**B** に当てはまる適切なことばを書きなさい。

図1



(2) 図2はヒトの右腕の曲げ伸ばしの模式図です。【説明文】の **C** ~ **J** に、図2中の **ア** ~ **コ** のうち、適切な記号を入れて、【説明文】を完成させなさい。



【説明文】

筋肉 **C** が縮んで、骨 **D** の部位 **E** についているけん **F** が引かれることによって腕を曲げることができる。

逆に、筋肉 **G** が縮むと、骨 **H** の部位 **I** についているけん **J** が引かれることによって、曲げた腕を伸ばすことができる。

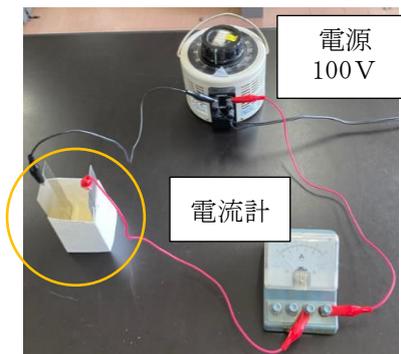
(3) ヒトのからだでおこる反射の例を一つ、25字以内で説明しなさい。

2 パン生地を電流を流してパンを焼く実験を行いました。図3のように、容器の内側に2枚の金属板を向かい合わせて電極とし、間にパン生地を入れます。パン生地は、小麦粉に少量の食塩と炭酸水素ナトリウムを加え、水でといて作りました。図4のように金属板に電流計と電源をつなぎ、電源のスイッチを入れ、パン生地に常に100Vの電圧をかけます。図5は電流計の示した値を縦軸に、電流を流し始めてからの時間を横軸にとって表したグラフです。(1)、(2) に答えなさい。

図 3



図 4



(参考) 回路模式図

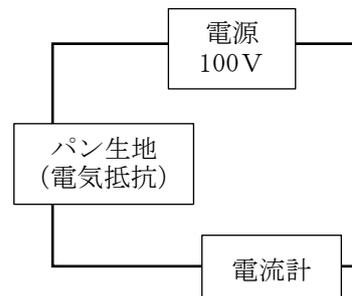
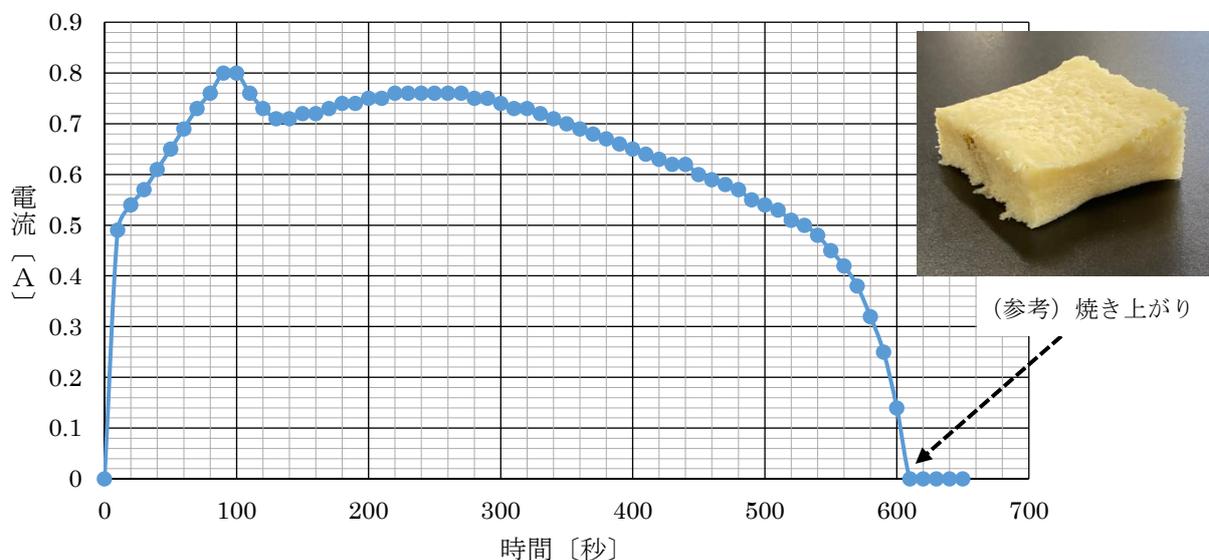


図 5



(1) 次の文の **A** ~ **G** に当てはまる適当なことばや数値を書きなさい。

パン生地に電流が流れるのは、生地に含まれる食塩や炭酸水素ナトリウムは水に溶解すると **A** して陽イオンと陰イオンに分かれ、電圧をかけると電気を帯びたイオンが金属板の間を移動するためである。時間が 100 秒での電流は **B** A で、このときのパン生地は、オームの法則より **C** Ω の電気抵抗になっていると考えられる。電気抵抗に電流が流れると熱が発生する。220 秒から 270 秒の間は **D** A で一定の電流が流れ、この間にパン生地が発生する熱量は **E** J である。また、パン生地に含まれる炭酸水素ナトリウム (NaHCO_3) は、熱により炭酸ナトリウムと水と **F** に分解され、**F** や水蒸気的发生によってパン生地が膨らむ。270 秒を過ぎると、パン生地に流れる電流の変化の様子からパン生地の電気抵抗は **G** なることが分かる。

(2) 270 秒以降の電流がグラフのように変化する理由を、「水の量」と「イオンの移動」に着目して 30 字程度で説明しなさい。

3 オリンピックについての次の文章を読み、(1)、(2) に答えなさい。

第1回のオリンピックは1896年に(a)アテネで開催されました。日本人が初めてオリンピックに参加したのは1912年の第5回(b)ストックホルム大会で、わずか2名のみでした。その際に尽力したのが(c)日本柔道の聖地である講道館こうどうかんを設立した「日本柔道の父」とされる嘉納治五郎かのうじごろうで、彼は日本人初の国際オリンピック委員会の委員として活動したこと、また後に東京でのオリンピック開催に向けて努力したことなどが知られています。

(1) 下線部(a)アテネ、下線部(b)ストックホルムは、図6の ア～オ の国のうち、どの国の都市ですか。記号で答えなさい。

図6



(2) 下線部(c)について、図7の写真は講道館監事としてその運営に尽力した人物で、近代日本産業の基盤を築いたと言われています。①～③に答えなさい。

① この人物の氏名を答えなさい。

② この人物の尽力によって、日本は国際的な地位を確立しました。その結果、1894年と1911年に不平等条約の改正を達成しました。この不平等条約の内容を2つ答えなさい。

図7



③ この人物は2024年に発行された新紙幣の肖像にも採用されましたが、今後、紙幣や貨幣での決済額の割合は、どのように変化すると考えられますか。図8を参考にし、次の文の **A**、**B** に当てはまる適当なことばを書きなさい。

今後、紙幣や貨幣での決済額の割合は **A** 傾向にあると考えられる。なぜなら、**B** 決済が一層普及することが見込まれるからである。

図8 日本の消費支出における決済方法ごとの決済額の割合 (%)

年	2019	2020	2021	2022	2023
クレジット	24.0	25.8	27.7	30.4	32.8
デビット	0.6	0.8	0.9	1.0	1.1
電子マネー	1.9	2.1	2.1	2.0	2.0
コード決済	0.3	1.1	1.8	2.6	3.4
計	26.8	29.7	32.5	36.0	39.3

数値は小数第2位で四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は必ずしも一致しません。

- 4 歴史好きの花子さんは、戦国時代の終わりに日本にやってきた外国人について描かれたドラマを見て大きな関心を持ちました。そこで、当時来訪した2人の外国人について調べ、次のようにまとめました。(1)～(4)に答えなさい。

ウィリアム・アダムス (イギリス人航海士)

(a) 1600年4月、豊後の国(大分県)黒島にオランダ船リーフデ号の航海長として漂着した。リーフデ号には大砲や火縄銃・火薬等の武器が搭載してあったため、当時日本を訪れていたイエズス会の宣教師らは彼らを海賊だとして処罰するよう要求した。しかし、徳川家康に気に入られた彼は同船していたヤン・ヨーステンと共に家康の外交顧問(アドバイザー)となった。彼は武士として「(b)三浦按針」の名を与えられた。家康には信頼された存在だったが1616年に家康が死去した後は次第に按針の立場は不遇となり、帰国することなく1620年に日本で没した。

ヤン・ヨーステン (オランダ人航海士)

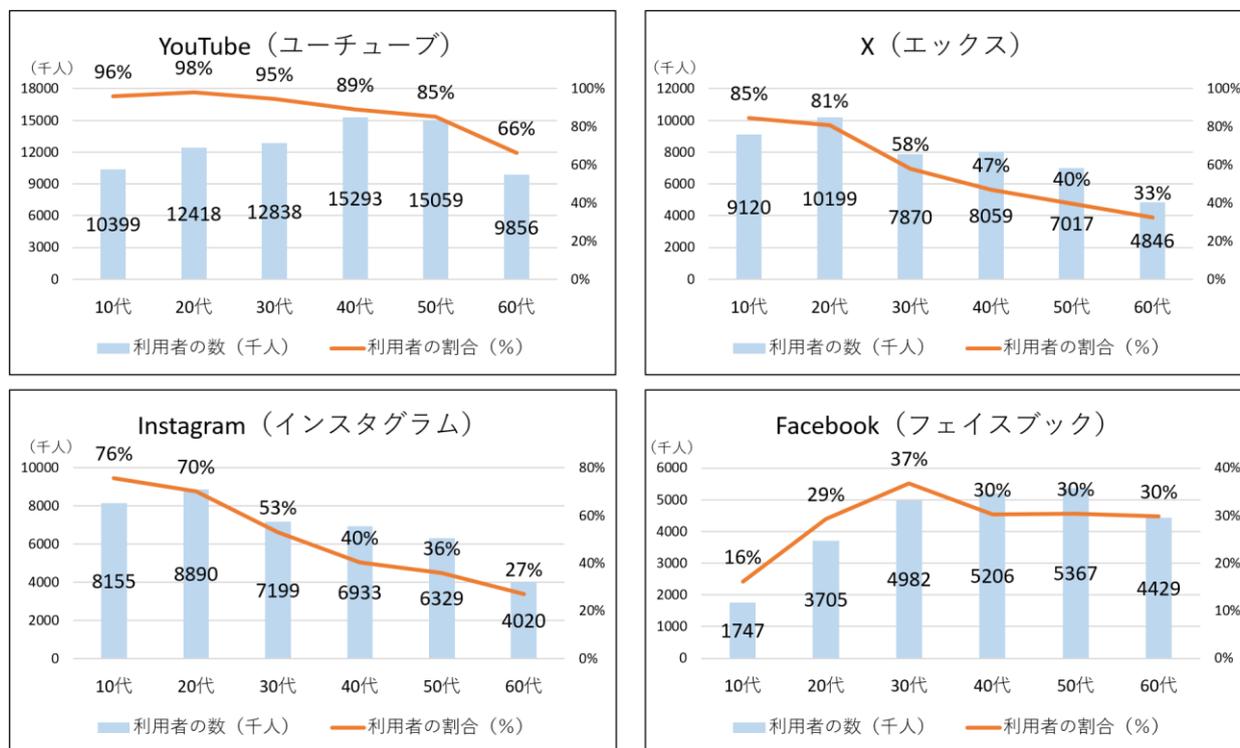
家康に信任され家臣となり、江戸城の内堀沿いに居住して日本人と結婚した。現在の東京都中央区八重洲の地名は彼の屋敷があったことに由来する。航海士としての能力を生かし、東南アジア方面での(c)貿易に尽力し、バタビア(現在の(d)ジャカルタ)に渡ったが、日本へ帰る途中、船が座礁し死亡した。

- (1) 下線部(a)について、この年の10月に徳川家康率いる東軍と石田三成率いる西軍が現在の岐阜県で衝突した戦いを何といいますか。
- (2) 下線部(b)について、姓の「三浦」は領地の名にちなんでいます。彼の領地があった三浦半島はかつて相模の国といわれていましたが、三浦半島がある都道府県名を答えなさい。
- (3) 下線部(c)について説明した次の文の 、 に当てはまる適当なことばを書きなさい。

家康は貿易を統制下に置くため、海外への渡航を許す を与えて収入の一部を に納めさせた。

- (4) 下線部(d)について、ジャカルタを首都とする国名を答えなさい。

5 次の資料は、日本で主に利用されている4つのSNS*について、年代ごとに利用者の数や割合をまとめたグラフです。(1)、(2)に答えなさい。(* Social Networking Service)



Gaiax『2024年10月版！性別・年齢別SNSユーザー数』より作成

(1) 次の①～④について、上の資料から読み取れることとして正しいものには○、間違っているものには×を記入しなさい。

- ① 20代の利用者の数が最も多いSNSはXである。
- ② Facebookを利用している人のうち、人数が最も多いのは30代である。
- ③ 10代から60代までの利用者の合計が最も多いSNSはYouTubeである。
- ④ どのSNSも若い年代ほど多くの人が利用している。

(2) Instagramを利用している太郎さんは、「自分の投稿に『いいね』がたくさんつくほど多くの人に注目されている、自分が認められている」と考え、『いいね』がたくさんつくよう毎日写真を投稿しています。この太郎さんの考えに対してあなたは賛成ですか、反対ですか。下の説明を読み、理由とともに自分の意見を200字以内で述べなさい。

SNSにおける『いいね』は、他の人の投稿が気に入ったときや、共感した時の意思表示を表す行動です。『いいね』の数が投稿の評価や人気を表す指標の一つであり、『いいね』が多いほどその情報はSNS上で拡散され、有益な情報として多くの利用者の目に触れやすくなります。